

原子力施設等におけるトピックス
(令和5年2月6日～2月12日)

令和5年2月15日
原子力規制庁

○令和5年2月6日～2月12日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
2月7日	ソード 日本曹達株式会社	研究開発本部小田原研究所	放射性同位元素の所在不明について	

○主要な原子力事業者(*)の原子力事業所内で令和5年2月6日～2月12日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限(LCO)から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に関係する事案で、事業者がプレス公表したもの

*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃株

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
2月8日	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	核燃料サイクル工学研究所	排気プロア電動機のケーブル溶融痕について	
2月8日	日本原子力発電株式会社	東海発電所、東海第二発電所	監視所内電気ストーブ電源コードの焦げ跡の確認について	

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス

該当なし

<その他>

該当なし

(別紙1) 日本曹達株式会社からの報告の概要

(別紙2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構からの公表資料

(別紙3) 日本原子力発電株式会社からの公表資料

緊急情報

24時間以内に緊急情報はありません。



[緊急時ホームページ/メール登録](#)

情報提供

3日以内に情報提供はありません。



[緊急時ホームページ/メール登録](#)

現在位置

[トップページ](#)
[放射線防護・原子力防災](#)
[原子力防災](#)
[事故・トラブル情報](#)
[原子炉等規制法または放射性同位元素等規制法に基づく報告](#)
 日本曹達(株)から放射性同位元素の所在不明について報告を受理

原子力規制委員会

掲載日：2023年2月7日

日本曹達(株)から放射性同位元素の所在不明について報告を受理

原子力規制委員会は、令和5年2月7日、日本曹達株式会社（以下「日本曹達(株)」という。）から、同社研究開発本部小田原研究所（神奈川県小田原市）における放射性同位元素の所在不明について、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象に該当するとの報告を受けました。

発生報告

1.日本曹達(株)からの報告内容

本日（7日）、日本曹達(株)より、非密封線源（炭素14）が所在不明になったことから、放射性同位元素等の規制に関する報告第31条の2の規定に基づく報告事象に該当するとの報告を受けました。

日本曹達(株)から受けた報告の概要は別紙のとおりです。



2.所在不明の放射性同位元素

非密封線源（炭素14）

3.原子力規制委員会の対応

今後、日本曹達(株)が行う原因究明及び再発防止策について、確認していきます。

令和5年02月07日

 [《別紙》日本曹達\(株\)からの報告の概要【PDF：39KB】](#) 

日本曹達株式会社からの報告の概要
(2月7日19時15分までに受けたもの)

- 本日(7日)、日本曹達株式会社研究開発本部小田原研究所(神奈川県小田原市)において、放射線管理区域で貯蔵している放射性化合物の貯蔵室の在庫確認を行っていたところ、非密封線源(炭素14 合計261.95MBq)の現物を確認できなかったことから、本日17時35分、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象(放射性同位元素の所在不明)に該当すると判断した。
- 本事象による環境への影響、人体への影響はない。

以上



2023年2月8日

各 位

日本曹達株式会社

放射性同位体化合物の所在不明について（第一報）

当社の小田原研究所（神奈川県小田原市）におきまして、放射性同位体化合物の所在不明が判明いたしましたので、お知らせいたします。本件については、原子力規制委員会と小田原警察署に直ちに報告を行いました。

関係の皆様にご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。原因について調査を行い、再発防止に努めてまいります。

記

1. 概要

- (1) 2023年2月7日に、小田原研究所の放射線管理区域において貯蔵している放射性同位体化合物の在庫確認を行っていたところ、化合物 261.95 MBq（メガベクレル）の所在が不明であることが判明いたしました。
- (2) 放射性同位体化合物の貯蔵場所に立ち入るためには3重のセキュリティがあり、鍵が壊されているといった状況もないことから、盗難の可能性は低いと判断しております。
- (3) 放射性同位体化合物の使用に際しては記録を義務づけておりますが、管理帳簿への記載ミスの可能性も考えられることから、現在調査を行っております。
- (4) 本件による環境への影響および人体への影響はないと判断しております。

2. 対応について

2023年2月7日に、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象として、原子力規制委員会に報告を行うとともに、同日、小田原警察署に状況報告を行いました。

当社といたしましては、原子力規制委員会の指導を仰ぎつつ、原因について調査を行うとともに、再発防止と信頼の回復に全力で取り組んでまいります。

3. 問い合わせ先

日本曹達株式会社 総務部

東京都千代田区大手町二丁目2番1号

電話番号：03-3245-6054（受付時間：9:00～17:30 土、日、祝日を除く）

以 上

図1 小田原研究所の平面図（赤枠は放射線管理施設の区域 第2本館C棟3階）

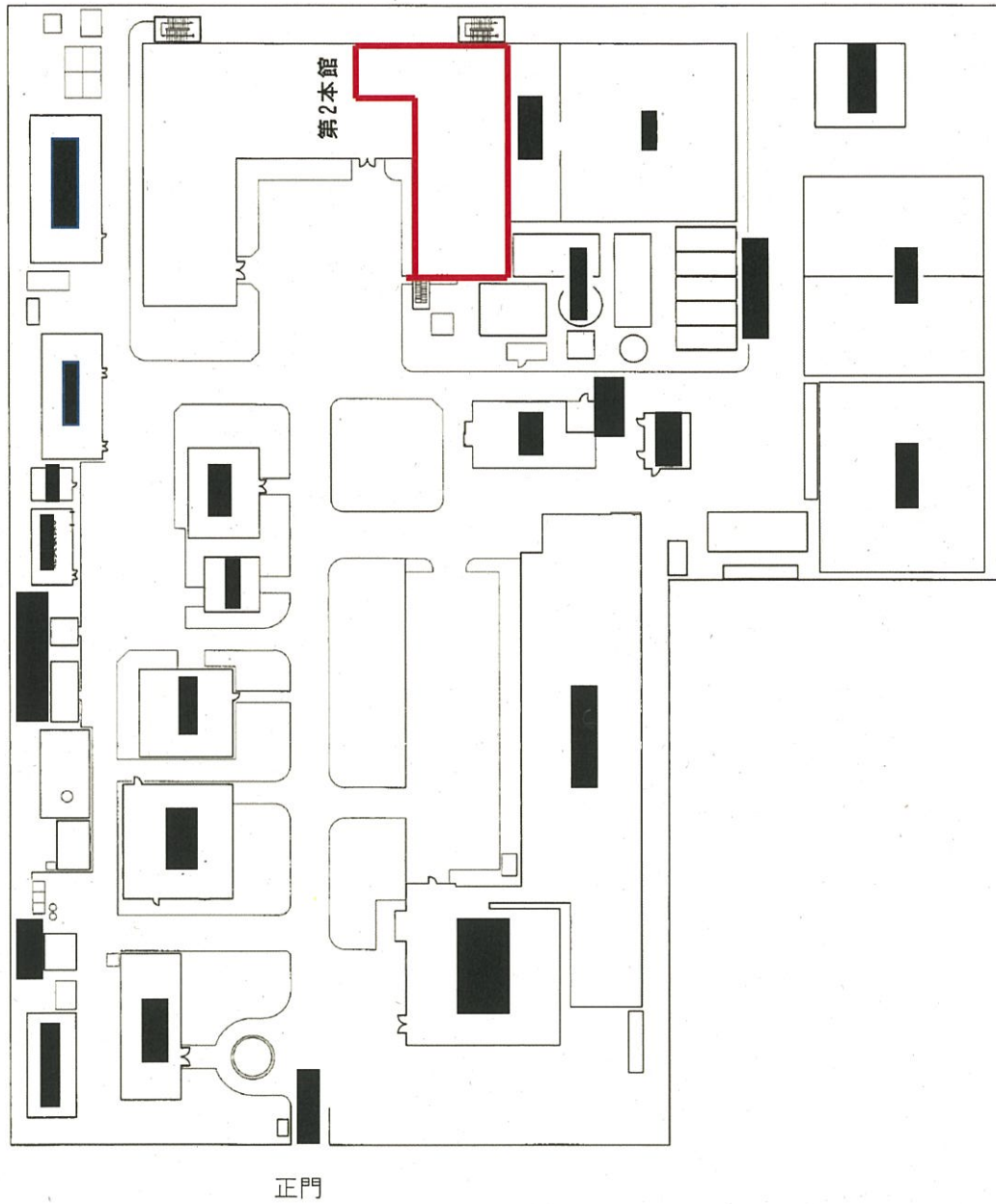
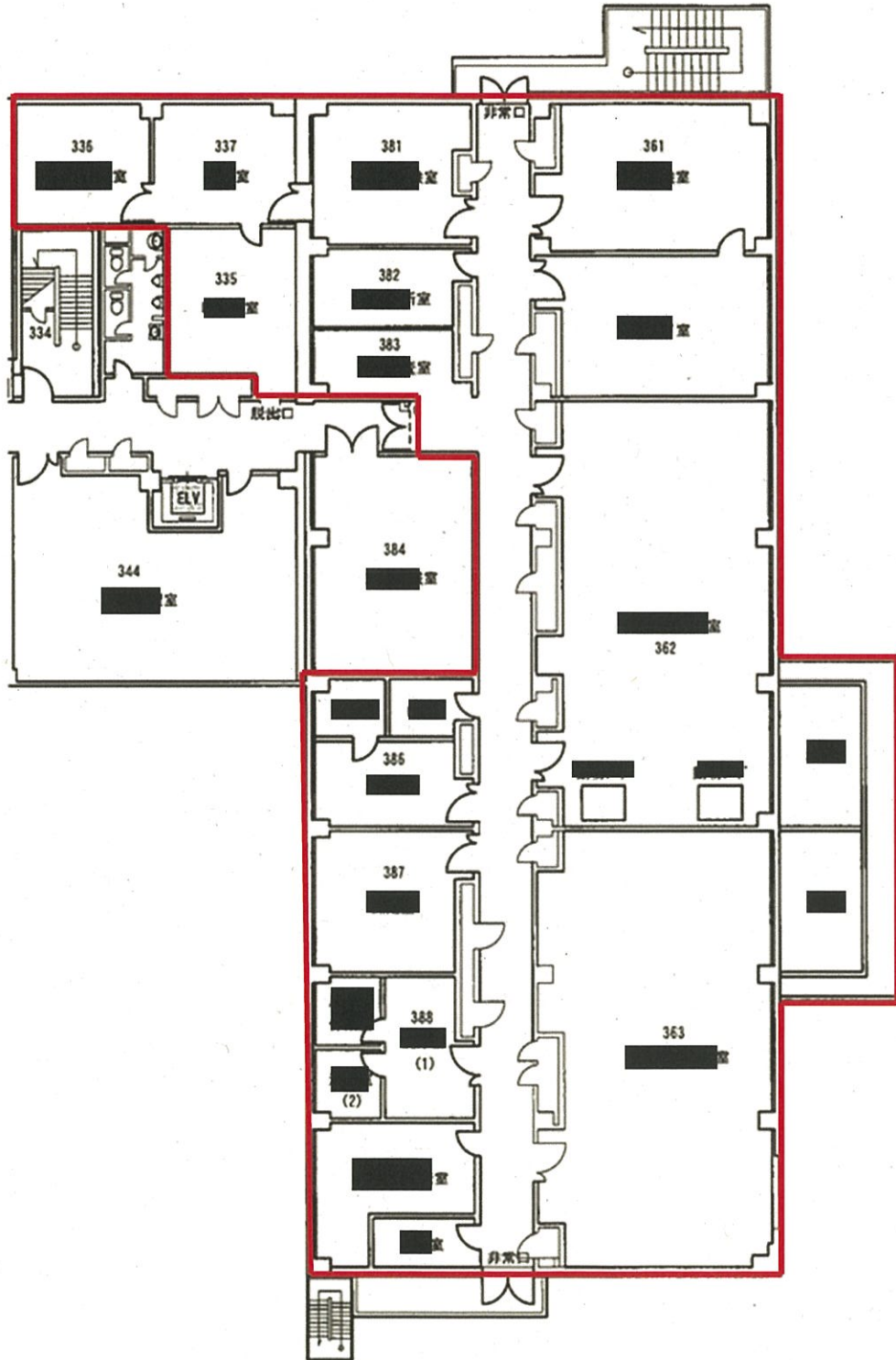


図2 放射線管理施設の平面図（赤枠が管理区域）



令和5年2月8日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料サイクル工学研究所

A棟におけるケーブル溶融痕について

1. 発生日時

令和5年2月8日(水) 14時05分頃(溶融痕確認時刻)

2. 発生場所

A棟 第二機械室(管理区域)

3. 状況

14時05分頃 排気ブロー電動機の点検※をしていたところ、端子箱内のケーブルに溶融痕を確認

14時11分 公設消防へ連絡

15時23分 公設消防により火災と判断(火がないことを確認)

※ 当該排気ブローは、1月22日にサーマルトリップにより停止したため、その原因調査の一環として電動機の端子箱内の調査を行っていた。

4. 原因

調査中

5. 放射線等状況

①環境への影響：なし

②その他：施設内放射線状況、敷地内のモニタリングポスト及びモニタリングステーションの指示値に異常はない。(15:30現在)

6. 作業員への影響

人身災害・汚染及び被ばくなし

7. 施設への影響

なし

【添付資料】

[添付1 核燃料サイクル工学研究所 施設配置図](#)

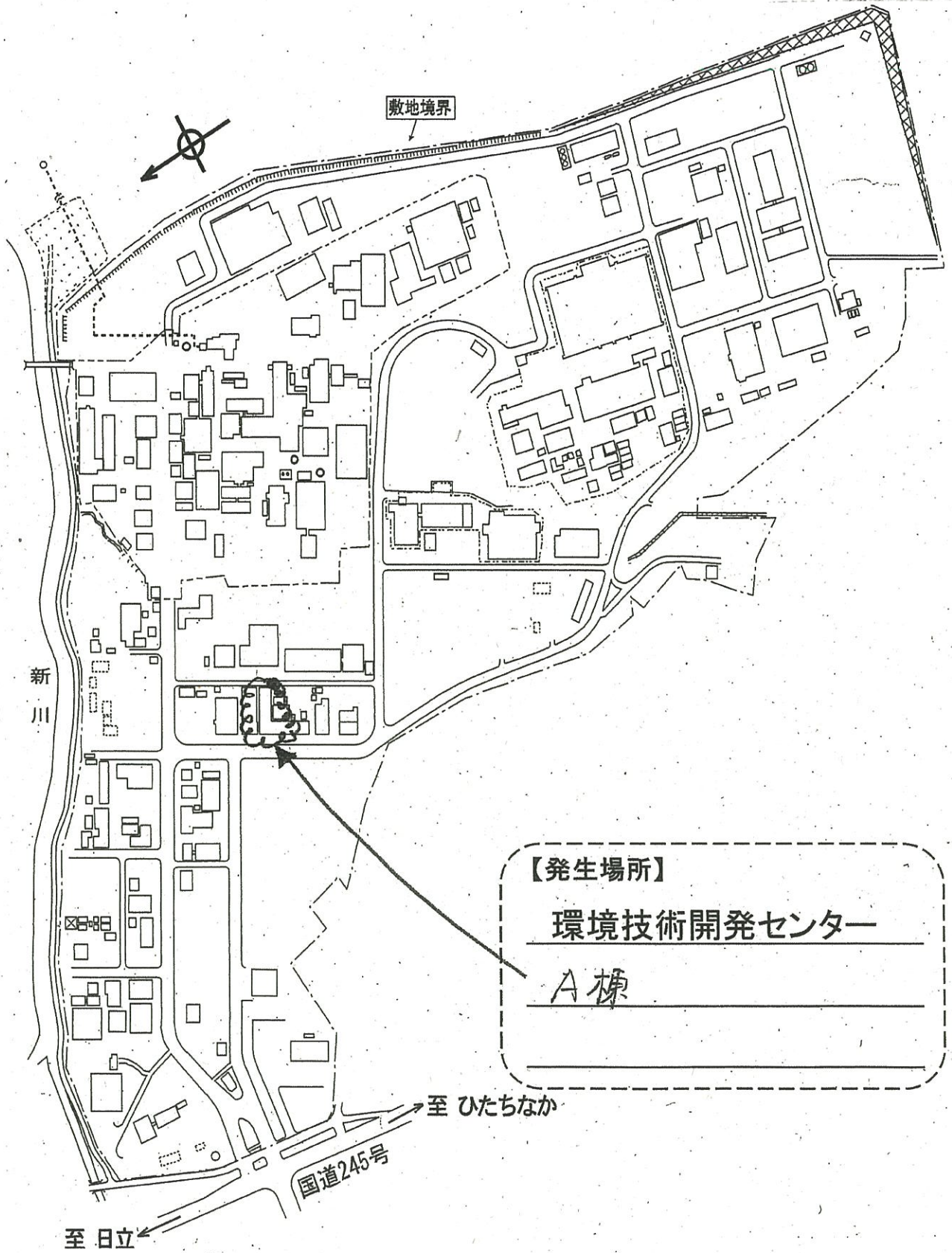
[添付2 A棟 施設概要](#)

[添付3 A棟平面図](#)

添付4 溶融痕確認場所の写真

添付5-1~2 モニタリングポスト・ステーション線量率データ

[戻る](#)



核燃料サイクル工学研究所 施設配置図

A棟 施設概要

1 施設概要

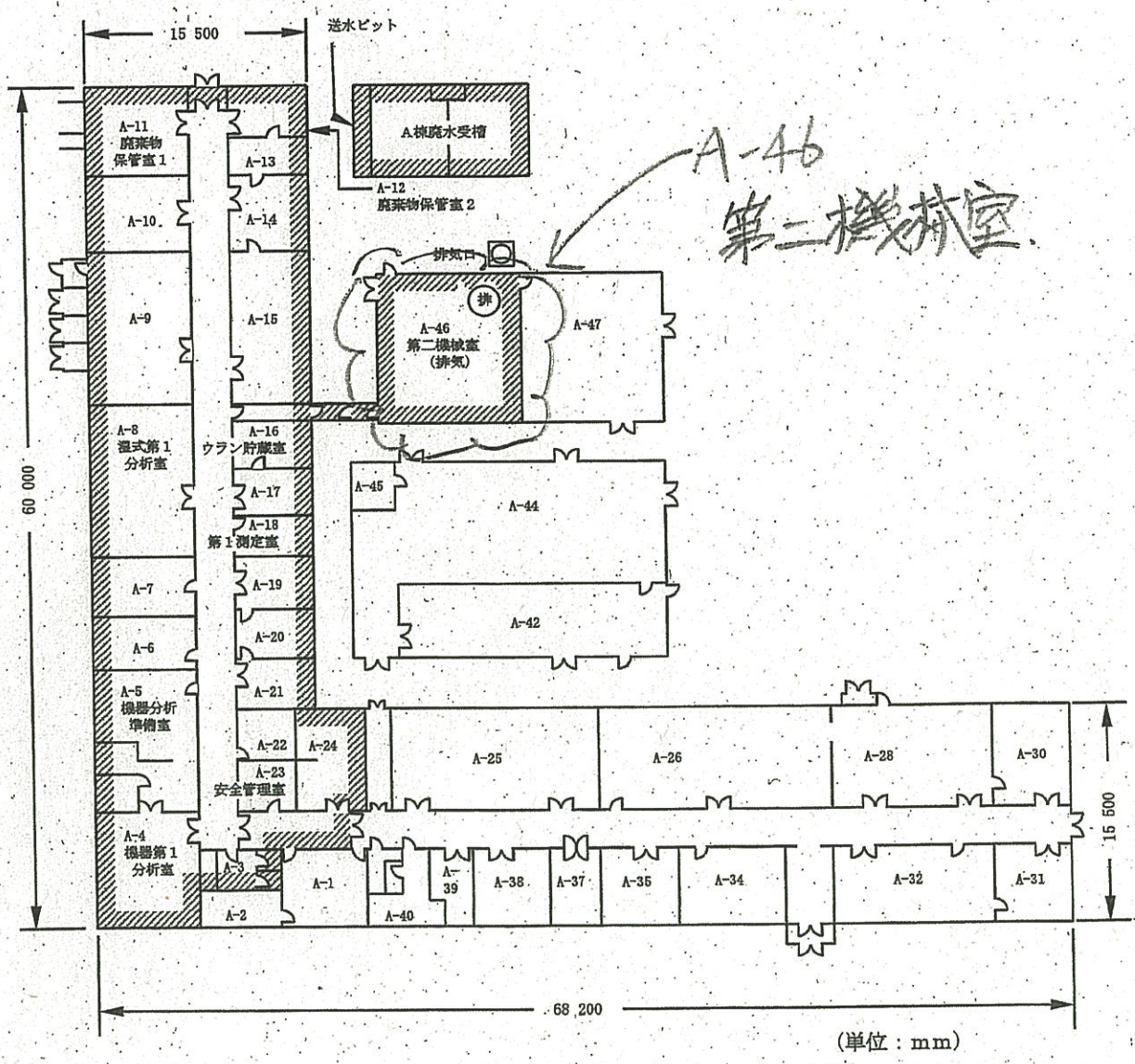
施設名	A棟
許可区分	核燃料物質使用施設（原子炉等規制法第41非該当）
主な設備	フード 23台
主に取り扱う放射性物質	ウラン
許可取得日	昭和33年5月
着工日	—
供用開始	昭和33年
供用終了	2027年度予定
廃止措置期間（予定）	2027年度に管理区域解除予定

2 事業内容

A棟では、これまで酸化物燃料の研究、ウラン資源の探鉱に係る研究及び分析技術の開発を実施してきました。

現在は、核燃料物質を使用した設備の除染・解体・減容に係る試料の分析を目的とし、グラム単位の天然ウラン及びその化合物を使用した湿式分析及び分光分析が実施できます。

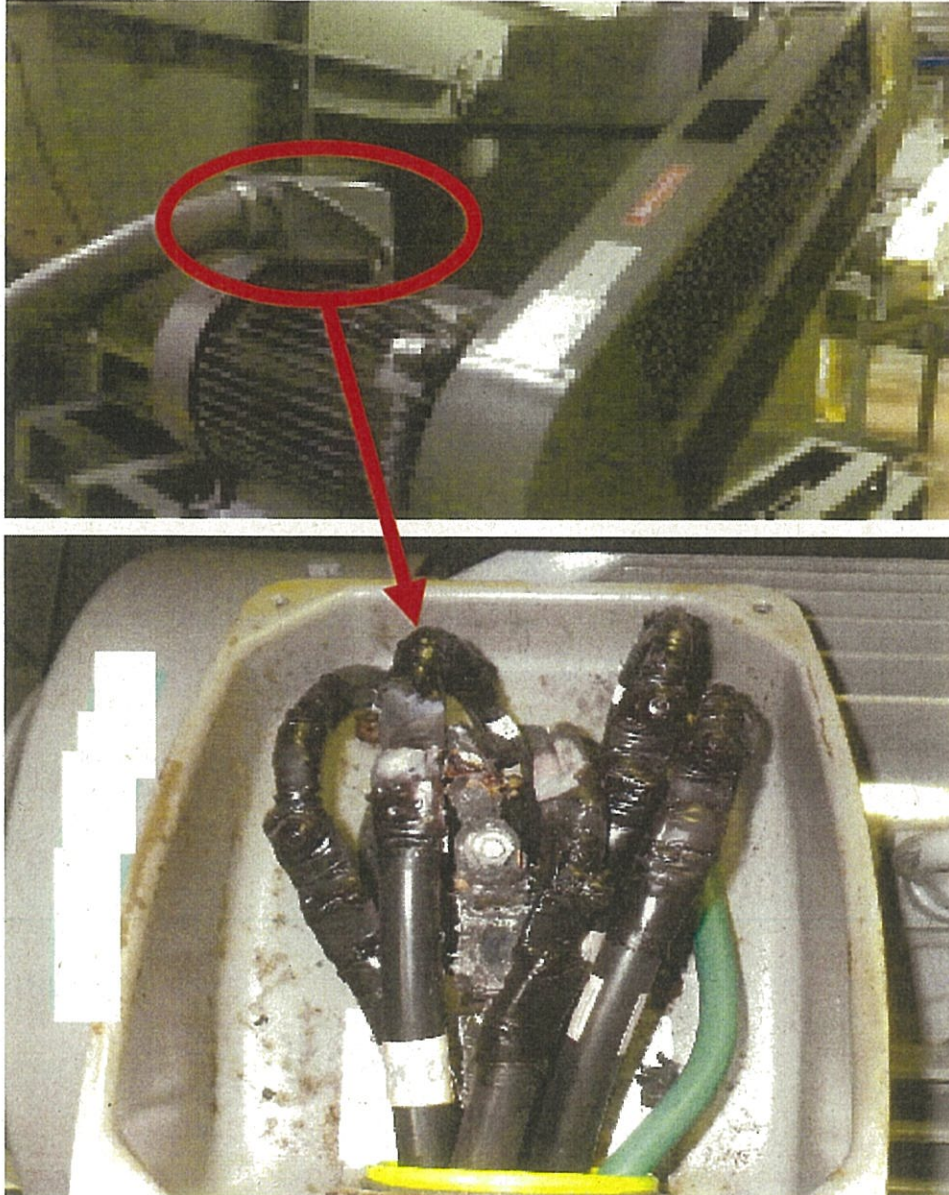
研究開発に関する当初の目的は終了したことから、廃止措置に向けた準備を進めています。



A-46
第二機材室

- 凡例
- : 管理区域
 - : 排気サンプル

A棟平面図



溶融痕確認場所の写真

緊急時環境監視結果 1分値		研究所内気象観測値					
<p>図例：海拔20m (地上10m)</p> <p>● モニタリングステーション ● モニタリングポスト - - - 周辺監視区域 - - - 研究所敷地境界</p>		<p>2023/2/8 15:30</p> <p>海拔100m 風向・風速</p> <p>風向 NE (北東) 風速 5.7 m/s</p> <p>大気安定度 D</p>					
<p>2023/2/8 15:30</p> <p>海拔20m (地上10m) 風向・風速</p> <p>風向 ENE (東北東) 風速 3.6 m/s</p> <p>感雨 無</p>		<p>周辺監視区域内における空間γ線量率(最大値)</p> <p>期間 2023/2/8 15:16 ~ 2023/2/8 15:30</p>					
観測局	測定値 (nGy/h)	2023/10 平常値 (nGy/h)	異常の有無	観測局	測定値 (nGy/h)	2021/10 平常値 (nGy/h)	異常の有無
ST1	43	42 36~87	有	P4	60	58 52~108	有・無
ST5	点検	58 49~114	有	P5	58	56 49~115	有
P1	62	61 55~106	有	P6	59	57 50~94	有
P2	65	66 57~125	有	P7	65	65 57~130	有
P3	67	66 59~106	有	P8	66	65 58~130	有

※平常値欄の上段はNa(Tl)検出器による1か月の1時間平均値、下段は1分値の最小~最大値

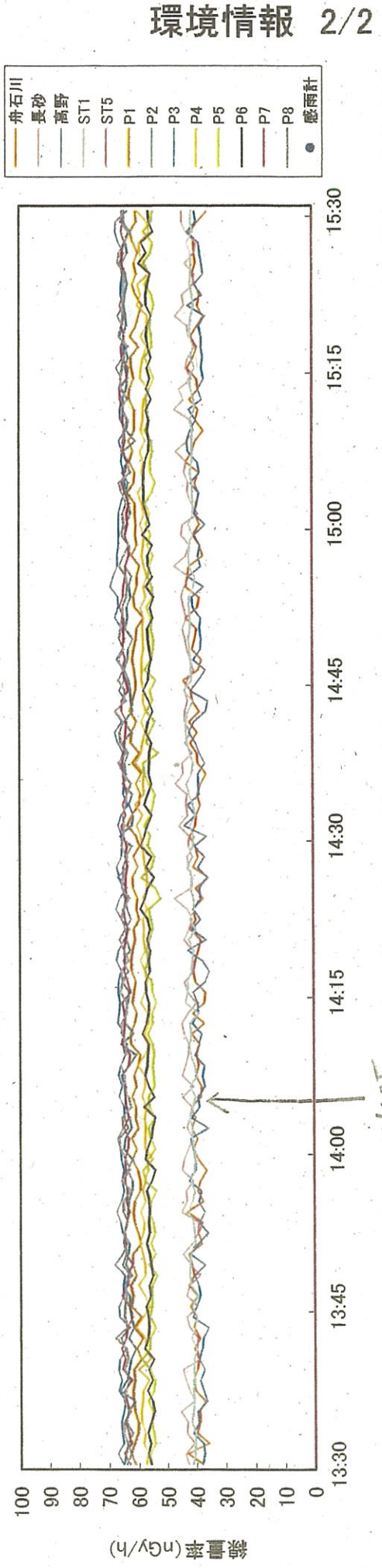
備考欄
平成23年3月以降、福島第一原子力発電所事故の影響により事故前のレベルに比べ高い線量率で推移している。
※ST5は核燃料格納容器のそばにある

固定放射線観測局及び気象観測局に係る測定結果(1分値)

海拔100m:ドップラーソナー
 海拔20m:安全管理棟塔屋

空間γ線量率の変動の有無(有り(無し) 無し) 記事(ST5は検出器交換中のため欠測)

線量率単位 (nGy/h)	周辺監視区域外				周辺監視区域内								海拔100m		海拔20m		感雨	降水量 (mm)	大気安定度	
	舟石川	長砂	高野	ST1	ST5	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	風向	風速 (m/s)	風向				風速 (m/s)
2023/2/8 15:30	36	44	40	41	0	60	64	63	59	54	56	64	64	北東	5.7	東北東	3.6	0.0	D	
2023/2/8 15:29	39	44	39	41	0	60	64	67	56	55	56	65	65	北東	5.7	東北東	3.8	0.0	D	
2023/2/8 15:28	41	43	42	40	0	62	62	67	55	57	54	65	63	北東	5.6	東北東	3.8	0.0	D	
2023/2/8 15:27	40	39	38	43	0	61	64	66	59	54	58	64	64	北東	5.7	東北東	3.8	0.0	D	
2023/2/8 15:26	40	40	38	41	0	59	63	64	59	55	57	65	66	北東	5.5	東北東	3.7	0.0	D	
2023/2/8 15:25	39	43	37	41	0	61	65	66	57	58	59	65	66	北東	5.3	東北東	3.5	0.0	D	
2023/2/8 15:24	40	40	37	41	0	60	64	64	56	55	55	64	64	北東	5.2	東北東	3.2	0.0	D	
2023/2/8 15:23	39	40	40	41	0	61	63	65	59	57	56	64	64	北東	5.2	東北東	3.1	0.0	D	
2023/2/8 15:22	38	44	37	41	0	60	64	65	58	55	57	64	64	東北東	5.6	東北東	2.8	0.0	D	
2023/2/8 15:21	39	43	42	40	0	58	64	64	60	54	57	65	64	東北東	5.5	東北東	2.6	0.0	D	
2023/2/8 15:20	37	46	36	41	0	59	63	66	56	55	55	64	64	東北東	5.6	東北東	2.5	0.0	D	
2023/2/8 15:19	39	42	38	41	0	60	63	65	56	55	56	65	65	東北東	5.4	東北東	2.5	0.0	D	
2023/2/8 15:18	41	42	38	41	0	62	64	65	58	55	57	64	66	東北東	5.7	東北東	2.8	0.0	D	
2023/2/8 15:17	39	40	37	40	0	59	64	64	56	55	56	65	63	北東	5.9	東北東	2.9	0.0	D	
2023/2/8 15:16	40	42	37	41	0	62	63	64	57	57	55	65	64	北東	5.8	東北東	2.9	0.0	D	
上記期間での最大値	41	46	42	43	0	62	65	67	60	58	59	65	66							



(事業者公表資料)

14:05
事故発生



2023年2月8日
日本原子力発電株式会社

東海・東海第二発電所 監視所内電気ストーブ電源コードの焦げ跡の確認について

当社、東海発電所は廃止措置中、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は、第25回定期事業者検査中のところ、2月8日14時46分頃、監視所（非管理区域）において、電気ストーブの電源コードに焦げ跡らしきものを協力会社社員が確認しました。このため14時48分、当社から公設消防に通報しました。

その後、公設消防より、17時19分に「15時06分に鎮火を確認、16時35分をもって本事象は火災であると判断した」旨の連絡を受けました。

なお、本事象による放射性物質の漏えいはなく、環境への影響はありません。また、人の汚染や被ばく、その他、人身災害もありません。

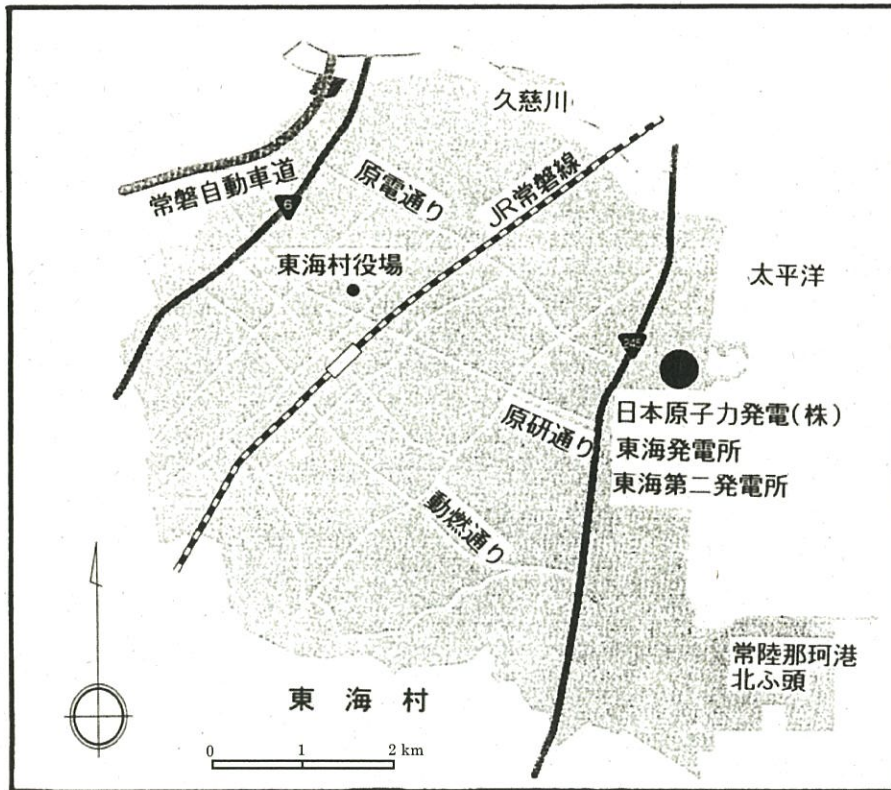
今後、火災が発生した原因を調査してまいります。

以上

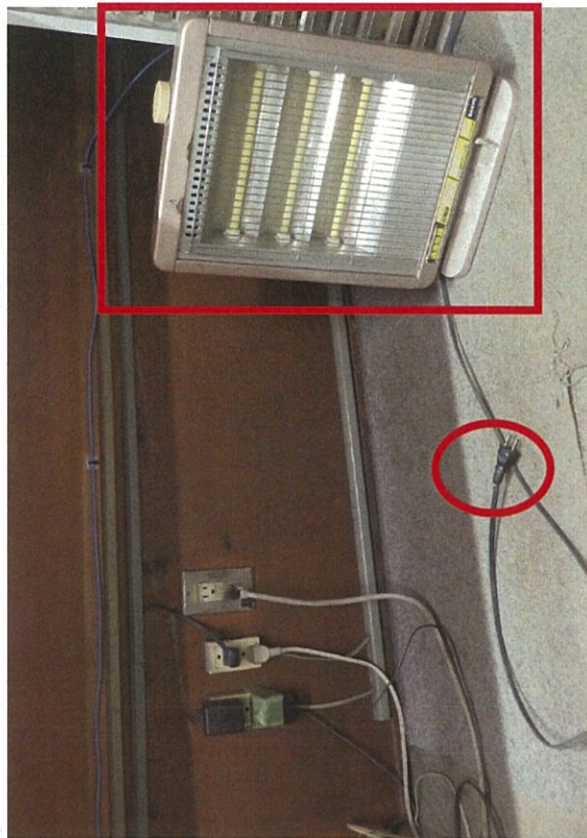
添付資料

1. 東海・東海第二発電所 位置図
2. 電気ストーブ電源コード写真

日本原子力発電株式会社 東海・東海第二発電所 位置図



電気ストーブ電源コード写真



電気ストーブの大きさ 高さ約46cm×幅約32.8cm×奥行約17.5cm

ケーブルに焦げ跡らしきものを確認